

事務事業番号 10101020007

事務事業名	北河内広域リサイクル共同処理事業負担金交付事業		
事業開始年度	2001(H13)年度	担当部署	環境事業部 減量総務課

根拠法令	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、北河内4市リサイクル施設組合格約										
実施方法	■直営 □委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:										

事業概要説明シート

事務事業番号 10101020007

事務事業名	北河内広域リサイクル共同処理事業負担金交付事業		
事業開始年度	2001(H13)年度	担当部署	環境事業部 減量総務課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H23年度	H24年度	H25年度(見込み)
活動実績	① ペットボトル・プラスチック製容器包装処理量	トン	4,945	4,885	6,724
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費/ペットボトル・プラスチック製容器包装処理量	円	33,196	32,842	29,796
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	ペットボトル・プラスチック製容器包装の資源化を推進し、循環型社会を構築する。				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	同様の事業は、北河内4市(枚方市、寝屋川市、四條畷市、交野市)以外でも、東大阪都市清掃施設組合(東大阪市、大東市)や豊中市伊丹市クリーンランド(豊中市、伊丹市)において実施されている。 ＜平成24年度北河内4市の負担金(見込み)＞ 枚方市:159,633千円、寝屋川市:105,979千円、四條畷市:41,852千円、交野市:48,351千円				
特記事項	平成13年7月 プラスチックごみ資源化モニター事業の開始 平成20年2月 ペットボトル・プラスチック製容器包装の全市分別収集の実施、北河内4市リサイクルプラザの本格稼動				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策 (平成24年度)	現状のまま継続	北河内広域リサイクル共同処理事業の適正な運営の維持のため、引き続き負担金の交付に取り組む。			
一次評価結果 (平成24年度)	アクションプランの課題※を考慮しながら効率化の検討を行う必要があるのでは ※課題名称:北河内4市リサイクル施設組合の運営の効率化 ※目標:運営の効率化により負担金の抑制を図る				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方策	現状のまま継続	北河内4市リサイクル施設組合への負担金は、北河内4市リサイクル施設組合規約に基づき関係市の均等割や人口割等により算定した額を適正に支出している。 また、北河内広域リサイクル共同処理事業の適正かつ効率的な運営のために、職員1名を北河内4市リサイクル施設組合に継続して派遣している。			